

船堀幼稚園応援団実践報告書

1 園長及び代表氏名

船堀幼稚園 園長 福井 直美

代表 関口 常正

2 今年度の活動内容

ドングリの会	泥団子の会	P T A	個人ボランティア
江戸川総合人生大学 修了者でつくるサークル の方々	船堀幼稚園を修了 されたP T A O Bの サークル	現のP T A会員の みなさん	地域の方・町会の方 本園元職員 本園修了生
<ul style="list-style-type: none"> ・春の自然で遊ぼう ・秋の自然で遊ぼう ・ヤゴや自然物の提供 ・徒歩遠足・自然観察のサポーター ・風車 浮沈子 スライムづくり ・草木染め ・もちつき 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・春の自然で遊ぼう ・秋の自然で遊ぼう ・船堀パーク ・泥だんごづくり ・シャボン玉づくり ・もちつき ・凧づくり凧揚げ 	<ul style="list-style-type: none"> ・パトロール ・エコキャップ アルミ缶 ベル マークの回収 ・遠足のサポーター ・各種親子活動の企画運営 ・洋裁協力 ・船堀パーク ・お話会と読み聞かせ ・ピアノ演奏 ・マラソン伴走 	<ul style="list-style-type: none"> ・春の自然で遊ぼう ・秋の自然で遊ぼう ・もちつき ・自然環境管理 ・親子クッキング ・英語で遊ぼう ・お茶会 ・花の手入れ ・フラワーアレンジメント ・ダンス指導

3 学校応援団組織図



4 今年度の成果と今後の課題

<成果>

今年一年も、子どもと大人と一緒に楽しめる充実した活動を行ってきました。学校応援団のみなさんには、継続してご協力いただき、年間の活動へのご理解もいただいて、幼稚園と共に進めていただきました。今年度は、藍、ベニバナ、マリーゴールドなどの染物に関して、園が育てた草花、学校応援団の方々がご自身で研究され、煮出しを主体的に進めてくださいました。かかわる人それぞれが体験を重ねて豊かになることを実感しました。また、新しくご協力いただく方も増えて、最高齢者は86歳と幅が広がり、子どもだけでなく親も教職員も、人との触れ合いやつながりがもてる機会となりました。

<課題>

学校応援団の方のしていただいていることのアピールを、多くの方に知っていただき、さらにふれあいやつながりを持ち、豊かな体験ができるようにコーディネートしていきたいです。

5 代表より

一年間応援団の皆様には、活動に御協力いただきましたことに感謝申し上げます。子どもたちは、遊びの中から成長していきます。楽しい遊び、思い出に残る遊び、いろいろな遊びを通して個性が伸び伸びと育つことを願っています。

区立幼稚園は、個性を伸ばすことを目標としていろいろな体験を子どもたちに与えています。応援団も微力ながら、いろいろな体験をしてもらう活動に取り組んできました。今後ともよろしく願いいたします。

6 園長より

今年度も地域応援団の皆様のお力を借り、楽しく充実した活動ができました。幼稚園職員だけで教育活動の質を維持・向上させるのが難しいところも、応援団の皆様のカバーがあって、よりよい教育に向えたと思います。あいあい広場応援団はもとより、職員室前の憩いのガーデンの整備、マラソンのペースメーカー、簡単クッキング指導などいろいろな活動を支えてくださった皆様ありがとうございました。親も子も居心地よく安全で楽しく過ごせる環境の中で、「家庭と地域がつながって子育てをする幼稚園」が実現できました。

これからも、驚きと感動と夢中になれる出来事がいっぱいの幼稚園を目指します。